

高齢者あったかのつどい

投稿日：2015年9月7日 | カテゴリー：看護部ブログ

敬老の日が近いということで、私の住む町で75歳以上のお年寄りを公民館に招待し、「高齢者あったかのつどい」が開催されました。私も町の協力委員として参加し、お吸い物の調理や接待をしました。あいにくの雨でしたが、20名のお年寄りが来場されました。

他地域の公民館活動をされているグループの『夢ふくふく』の皆様にも“ドジョウすくい”と“南京玉すだれ”を披露していただきました。『夢ふくふく』の皆様も老人会に入っておられる年齢ですが、輝いており「素敵な年の取り方だなア」と思いました。



また、ものまねタレントの『プレイバック百恵』さんによる、山口百恵や美空ひばり、天童よしみ等の“ものまね歌謡ショー”が開催され、地域のお年寄りや町役員の方々と一緒に楽しみました。



イベント後の反省会では、町内の75歳以上のお年寄りが参加されたのは3分の1以下であり、もっとたくさん的高齢者に参加してもらえ、楽しんでいただけたらと話し合いました。

仕事をしていると地域の人たちとの交流は少ないのですが、今回のイベントで町の皆様と会話を交わし、触れ合う良い機会となりました。

団塊の世代が75歳を迎える2025年を見据え、高齢者が住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した日常生活が営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まいおよび自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制である“地域包括ケアシステム”の取り組みが進んでいます。

住み慣れた地域で生活できるように、普段から地域の人たちと会話を交わし、顔見知りになっておくことが大切と実感する一日でした。

看護部次長 高田としみ